

1 一式戦闘機「隼」



2007年(平成19年)に公開された映画「俺は、君のためにこそ死ににいく」で忠実に復元された陸軍戦闘機です。

2 特攻勇士の像



1974年(昭和49年)に建立。伊藤五百電氏制作。

3 鳥濱トメの灯ろう



1956年(昭和31年)に建立。参道の脇にあります。

4 飛行場の門柱



飛行場の門柱が移設されています。その後は、知覧教育隊関係者によって記念碑が建立されています。

5 特攻平和観音堂

毎年5月3日、慰霊祭が行われています。観音堂は2004年(平成16年)、第50回祭を記念して改築されました。



6 灯ろう



県道をはじめ、観音堂に続く道には全国の遺族・関係者・有志から寄進された灯ろうが並んでいます。

7 油脂庫

練習機の潤滑油やグリースなどを保管した倉庫です。壁面には荒々しい円錐状の窪みは何箇所も刻まれています。これは1945年(昭和20年)3月以降、米軍の空襲を受けた時の傷跡です。



8 弾薬庫

飛行演習は飛行場の周辺を飛び周飛行、宙返りなどの特殊飛行、複数機で飛び編隊飛行などを経て、射撃訓練も行いました。その射撃訓練用の機銃弾が入っていました。



9 知覧飛行場正門(跡地)

知覧飛行場の正門です。左は現在、右は戦時中の写真で、ほぼ同じ場所から撮影したものです。門柱にかかる看板には「大刀洗陸軍飛行学校知覧教育隊」と書かれています。1941年(昭和16年)の飛行場の完成から1944年(昭和19年)までは飛行兵の訓練場として使われました。※門柱は現在、参道の脇に移設されています。



知覧特攻平和会館周辺の戦争遺跡など 散策1.5kmコース(40~50分)



知覧特攻平和会館は飛行場跡地の北端に建てられています。周辺には今でも当時の史跡が残っています。実際の戦争遺跡を見て歩き、戦争・平和について考えてみませんか。



12 着陸訓練施設



どのくらいの高度で飛行機を接地させればよいのかを体感させる施設の一部です。約150m先に櫓があり、そこからワイヤーを引き、簡易な練習機を滑車で滑らせて訓練しました。

11 防火水槽

防火用の水槽で、もともとは3基ありました。残る1基が私有地にあったため、2004年(平成16年)に現在の場所に移築されました。お椀型に地面が掘られ、直径は約10mあります。



10 給水塔



飛行場は台地にあるので水の確保に苦労しました。町の麓を流れる思い川から取水しポンプアップして高架式のタンクに貯水しました。戦時中は真っ直ぐ立っていましたが、地盤が悪かったため現在ではピサの斜塔のように少し傾いています。高さは約13m、直径は約6mあります。



飛行学校再現